



2017年3月期(121期) 第2四半期決算説明資料

グンゼ株式会社
(証券番号 3002)



1. 第2四半期 決算概要

I-1. 2017年3月期 第2四半期 業績

連結業績

(単位:百万円)

	2017年 3月期 第2四半期	2016年 3月期 第2四半期	対前期		利益率(%)	
			増減額	増減率 (%)	2017年 3月期 第2四半期	2016年 3月期 第2四半期
売上高	66,015	69,410	△3,394	△4.9	-	-
営業利益	2,516	1,568	948	60.5	3.8%	2.3%
経常利益	-3,080	988	△4,068	-	-	1.4%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	-2,688	404	△3,092	-	-	0.6%

営業外損益 : △5,597百万円

(デリバティブ評価損 : △5,030百万円 , 為替差損 : △750百万円)

I-1. 2017年3月期 第2四半期 業績(補足)

【適時開示】

営業外費用の計上について

(1) デリバティブ評価損：△5,030百万円を営業外費用に計上

- 内訳

- 第1四半期連結会計期間に計上済：4,660百万円
- 第2四半期連結会計期間の計上額：370百万円

- 発生原因：オプション取引の期末**未行使残高の時価評価損**
- 尚、この評価損は当期キャッシュフローに影響しません
- 尚、今後の為替相場の状況で評価が変動します

(2) 為替差損：△750百万円を営業外費用に計上

- 内訳

- 第1四半期連結会計期間に計上済：478百万円
- 第2四半期連結会計期間の計上額：271百万円

- 発生原因：外貨建債権・債務の期末為替相場での評価替
- 尚、今後の為替相場の状況で評価が変動します

I-2. 第2四半期の決算サマリー

機能ソリューション事業

対前年 増減

主なポイント

売上高

△52

- ◆ プラスチックフィルム分野は、シュリンクフィルムは好調も食品包装分野の競争激化や単価下落等で減収。
- ◆ エンジニアプラスチックス分野は、非OA市場向け製品は好調に推移したが、OA市場向け製品は苦戦。
- ◆ 電子部品分野は、構造改革を継続するも、タッチパネル、フィルム市場の競争激化で苦戦。
- ◆ メディカル分野は、縫合補強材が国内外とも好調に推移。

営業利益

1

アパレル事業

対前年 増減

主なポイント

売上高

13

- ◆ インナーウェア分野は、主カブランド中心に差異化商品拡販並びに成長販路拡大により順調に推移。
- ◆ レッグウェア分野は、主カブランドのサブリーナ及びレギンスパンツ・フットカバーが全体を牽引。
- ◆ 第2四半期よりアパレル小売事業の(株)ジーンズ・カジュアルダンと(有)伊達デパートを連結範囲に含む。

営業利益

6

ライフクリエイイト事業

対前年 増減

主なポイント

売上高

4

- ◆ 不動産分野は、「グンゼタウンセンターつかしん」等の商業施設は残暑影響で苦戦したものの、マスターリース事業や住宅・ビル賃貸事業が貢献。

営業利益

1

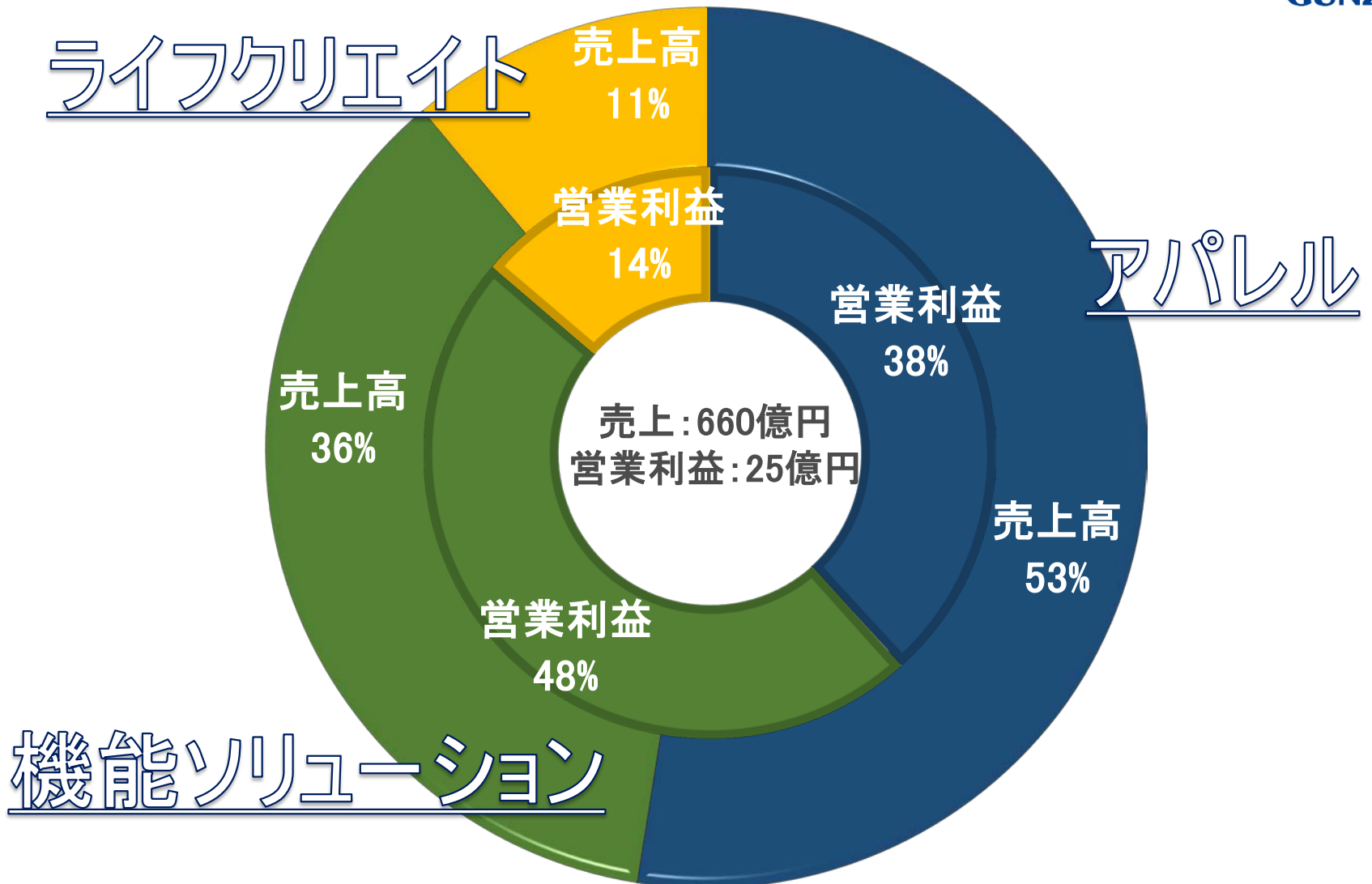
- ◆ スポーツクラブ分野は、新規出店効果により売上は増加したものの初期費用の影響を受ける。

I-3. 第2四半期セグメント別業績

(単位:百万円)

	売上高			営業利益 (下段: 利益率)		
	2017年 3月期 (2016年度)	2016年 3月期 (2015年度)	増減	2017年 3月期 (2016年度)	2016年 3月期 (2015年度)	増減
機能 ソリューション	24,124	29,304	△5,179	1,924 8.0%	1,785 6.1%	139 1.9
アパレル	34,729	33,475	1,253	1,537 4.4%	952 2.8%	584 1.6
ライフ クリエイト	7,351	6,962	388	546 7.4%	483 6.9%	63 0.5
合計	66,015	69,410	△3,394	2,516 3.8%	1,568 2.3%	948 1.5

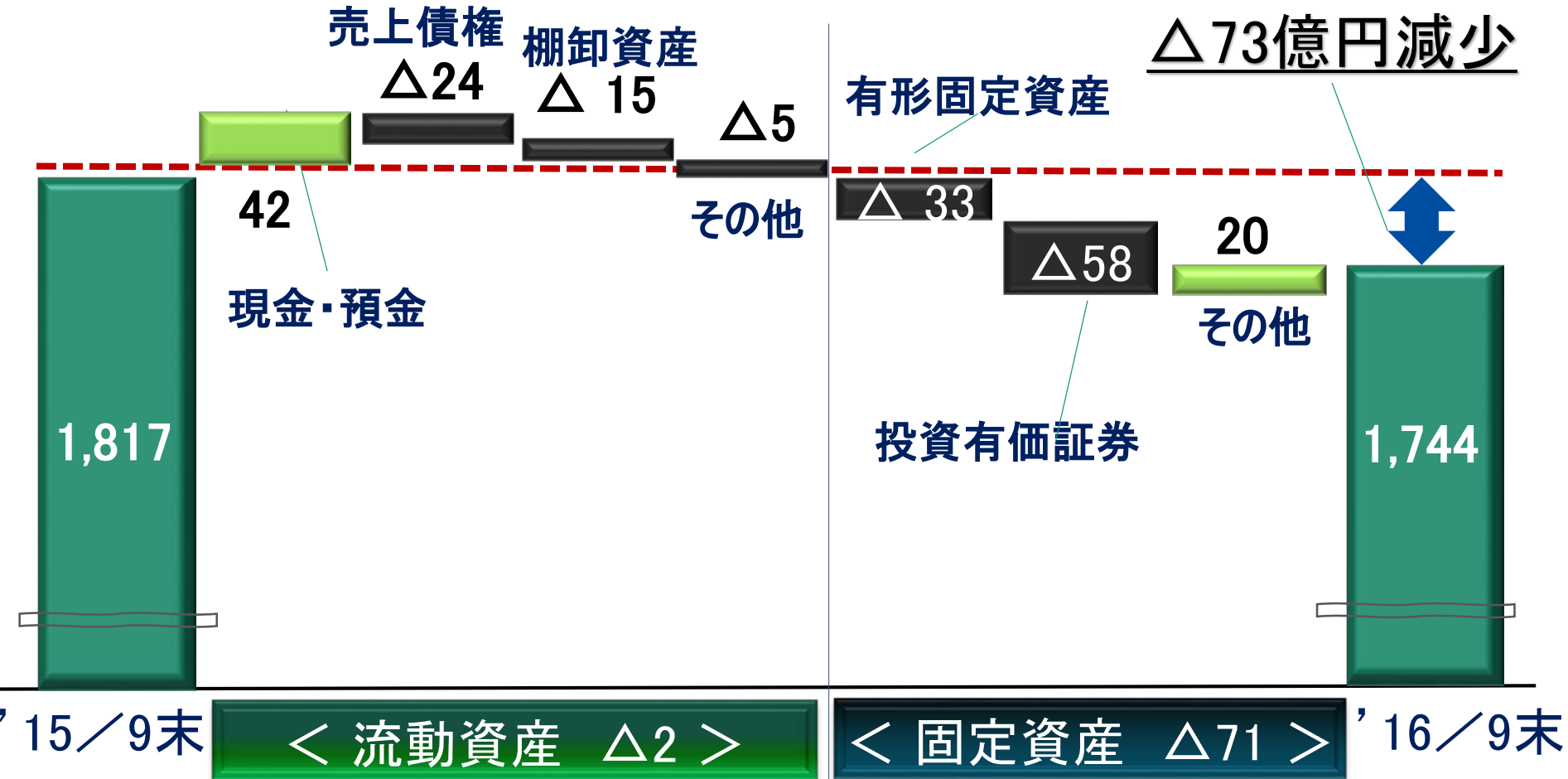
I-4. 第2四半期 セグメント別構成比



I-5. 資産の増減内容

◆ 前年同期比(前第2四半期比較)

(単位: 億円)



I-6. 主要財務・経営指標(連結)

	単位	2017年 3月期 第2四半期	2016年 3月期 第2四半期	増減
総資産	百万円	174,339	181,657	△7,257
自己資本	百万円	99,074	113,016	△13,942
自己資本比率	%	56.8	62.2	△5.4
有利子負債額	百万円	38,221	38,890	△669
BPS：1株当たり純資産	円	529.90	605.04	△75.14

I-7. キャッシュフロー

キャッシュフロー

(単位:百万円)

	2016年度 (17/3期) 第2Q	2015年度 (16/3期) 第2Q	増減
営業活動	3,820	3,086	734
投資活動	△4,529	△9,661	5,132
FCF	△709	△6,575	5,866
財務活動	6,551	5,795	756

■ 主な営業CF

税金等調整前四半期純損失	△2,882
デリバティブ評価損益	5,030
減価償却費	3,283
たな卸資産の増加	△1,556

■ 主な投資CF

固定資産の取得	△4,143
---------	--------

■ 主な財務CF

短期借入金及びC Pの増加	9,688
配当金支払	△1,581
長期借入金の返済	△1,498

I-8. 設備投資と減価償却費

◆ 前年同期比(第2四半期累計)

(単位:百万円)

	設備投資				減価償却			
	2017年 3月期		2016年 3月期	増減	2017年 3月期		2016年 3月期	増減
	年間計画	第2Q	第2Q		年間計画	第2Q	第2Q	
機能リノベーション	2,400	685	2,800	△2,115	3,300	1,489	1,594	△105
アパレル	2,300	1,276	270	1,006	1,300	606	639	△33
ライフワーク	3,800	1,534	369	1,165	1,500	878	845	33
その他	400	183	787	△604	800	323	345	△22
合計	8,900	3,680	4,228	△548	6,900	3,297	3,424	△127



■ 今期の主な投資計画

プラスチック生産設備	1,100
インナー生産工場新設・生産設備	1,100
遊休地開発、スポーツクラブ新規出店	3,800



Ⅱ. 事業セグメント別の概況

Ⅱ-1. 第2四半期の事業概況

◆ 機能ソリューション事業 1

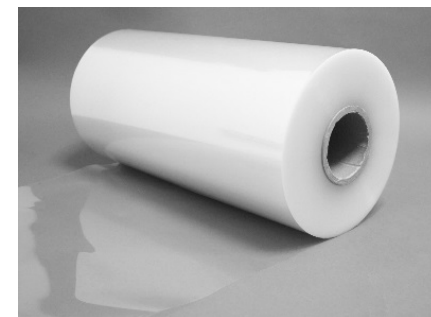
■ プラスチック

事業環境の変化に伴う新市場、新商品開発を推進

◆ 製品群

概況

平板収縮	<ul style="list-style-type: none"> 国内と東南アジアルートが好調も円高で海外子会社の売上減少
OPP	<ul style="list-style-type: none"> 原料値下がりに伴う販売単価ダウンと競合他社の価格攻勢により数量ダウン
複合ナイロン	<ul style="list-style-type: none"> 新製品「PFタイプ」好調も輸出用バルーン用途不振
多層	<ul style="list-style-type: none"> 半導体市況の好転で受注回復傾向



■ 複合ナイロンPFタイプ

■ エンジニアリングプラスチック

主力OA商品の成熟化対策と繊維技術活用製品の拡大による新市場創造

◆ 製品群

概況

カラー中間転写ベルト	<ul style="list-style-type: none"> 景気減速に伴うマルチファンクションプリンター販売の停滞
フッ素樹脂チューブ	<ul style="list-style-type: none"> 単機能プリンター市場の縮小
一般産業用途	<ul style="list-style-type: none"> 医療器具用収縮チューブが堅調



■ フッ素樹脂 小口径収縮チューブ

Ⅱ-2. 第2四半期の事業概況

◆ 機能ソリューション事業 2

■ 電子部品

グループ生産工場の再編・合理化等の構造改革と組織体制の再構築による販売力の強化

◆ 製品群

概況

抵抗膜方式	<ul style="list-style-type: none"> メインユーザーのPCAPシフトの影響で売上減
PCAP完成品	<ul style="list-style-type: none"> 教育端末や企業向けPCAPは好調も、大型案件の失注が響く
フィルム販売	<ul style="list-style-type: none"> UVカットOCAは堅調も取り組み案件の失注や進展遅れで苦戦 受託加工ビジネスの拡大を急ぐ



■ ウエットコーティングシステム

■ メディカル

新工場建設など積極的な経営資源の投入と事業拡大に向けた生産・販売体制整備

◆ 製品群

概況

縫合補強材	<ul style="list-style-type: none"> 米国の肥満治療用途で伸長、シートタイプも好調に推移
骨接合材	<ul style="list-style-type: none"> 競合品の参入及び中国医療費抑制策の影響で苦戦
人工皮膚	<ul style="list-style-type: none"> アジア市場で苦戦するも欧州開拓が進展
縫合糸	<ul style="list-style-type: none"> 海外（ロシア、東欧）での積極的な受注獲得で伸長



■ 縫合補給材(シート)

Ⅱ-3. 第2四半期の事業概況

◆ アパレル事業

■ インナーウェア分野

差異化技術による重点ブランド拡販で成長確保
 生産構造改革の継続推進

● 差異化技術商品が好調

メンズ

- 【YG】カットオフ【BODY WILD】成型ホックの販売好調
- 【快適工房】リニューアル効果の一巡で苦戦
- 残暑影響で夏物シーズン商品は順調に消化

レディース

- 【KIREILABO】生産増強により、接着無縫製商品の展開が拡大、市場トレンドと連動し好調



■【YG】CUT OFF シリーズ

■【KIREILABO】
完全無縫製ハーフトップ

■ レッグウェア分野

市場トレンドと消費者潜在ニーズを先取りした新市場・新商品の開発推進

● 事業領域拡大および販路拡大が順調

- 「SABRINA」等のストッキング、タイツは定番拡大により好調
- 今春デビューしたメンズ・キッズレギパンは、好調に推移
- 商品優位性の高いフットカバーやおうちスリッポンも好調



■【SABRINA】

■【Tuche Homme】

Ⅱ-4. 第2四半期の事業概況

◆ ライフクリエイイト事業

■ 不動産関連分野

● SC事業の現況

- 全般的に残暑の影響でファッションテナントの売上は低調
- ショッピングモール「エルミこうのす」(埼玉県鴻巣市)のマスターリース事業が収益貢献

● 新規不動産開発状況

- 新商業施設「あやベグンゼタウンセンター」は、12月中旬開業予定
- 綾部賃貸住宅の全64戸は、年内満室予定
- 夙川賃貸マンションは、11月1日より賃貸開始



■ 夙川賃貸マンション(西宮市)

■ スポーツクラブ分野

● 既存店の営業状況

- 「カラダリニューアル」キャンペーンのヒットで新規入会者増加

● 新店の営業状況

- 広島祇園店(3/25開業)は、8月から単月黒字化
- 京都八幡店(7/1開業)は、コンスタントに入会者が伸長
- 富山市の市街地再開発による包括ケア拠点へ出店(2017/4OPEN)



■ カラダリニューアルキャンペーン



Ⅲ. 今後の見通し

- ・ 第2四半期累計期間の営業利益は概ね想定の範囲内で推移しております。
- ・ デリバティブ評価損及び為替差損については、年度末の評価額を予測することが困難なことから、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は予想を変更しておりません。
- ・ 但し、機能ソリューション事業の販売状況を踏まえ、売上高については業績修正しております。

Ⅲ-1. 2017年3月期連結業績予想

業績予想

※ 業績修正：有

(単位：百万円)

項目	2017年3月期 (121期) 連結		2016年3月期 (120期) 連結		対前年	
	業績修正予想 (下段：修正額)	利益率	実績	利益率	増減	増減率
売上高	135,000 (△6,000)	/	138,324	/	△3,324	△2.4%
営業利益	4,000	3.0%	3,662	2.6%	338	9.2%
経常利益	4,600	3.4%	791	0.6%	3,809	481.5%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,600	1.9%	-1,201	-	3,801	-

第121期(2017年3月期)配当は、7.5円／1株を予定しております。

Ⅲ-2. セグメント別業績予想

セグメント別の対前期比較

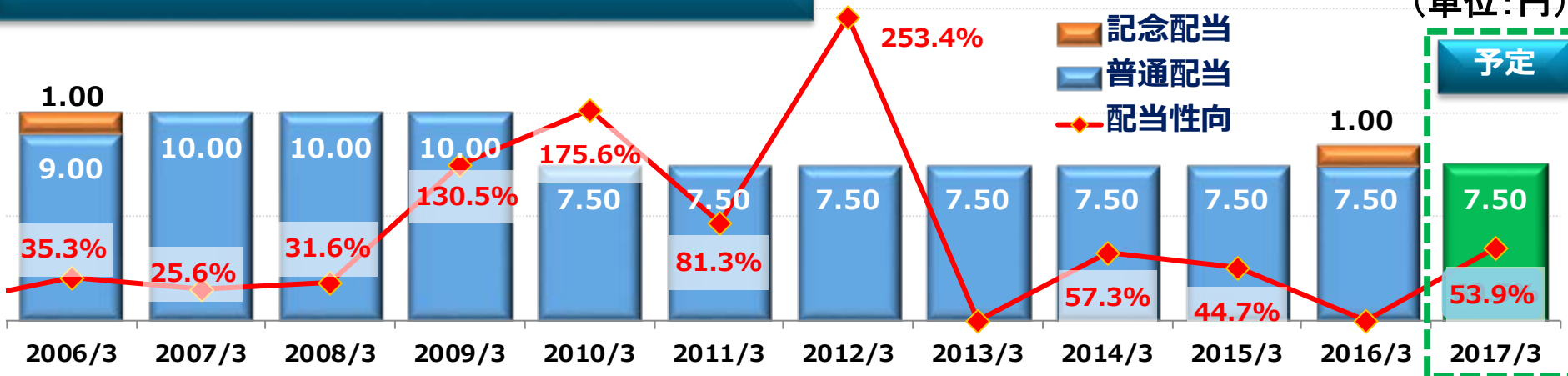
※ 業績修正：有 (単位：百万円)

	売上高				営業利益 (下段：利益率)			
	2017年3月期 (2016年度)		2016年 3月期 (2015年度)	増減額 (率, %)	2017年3月期 (2016年度)		2016年 3月期 (2015年度)	増減額 (率, %)
	修正予想	修正額			修正予想	修正額		
機能ソリューション	48,000	△6,200	56,171	△8,171 △14.5%	3,100 6.5%	△600	3,440 6.1%	△340 △9.9%
アパレル	72,000	700	68,164	3,836 5.6%	2,800 3.9%	400	2,232 3.3%	568 25.4%
ライフクワイエット	15,500	△600	14,635	865 5.9%	1,300 8.4%	-	1,221 8.3%	79 6.5%
本社/消去	-500	100	△647	147	-3,200	200	△3,231	31
合計	135,000	△6,000	138,324	△3,324 △2.4%	4,000 3.0%	-	3,662 2.6%	338 9.2%

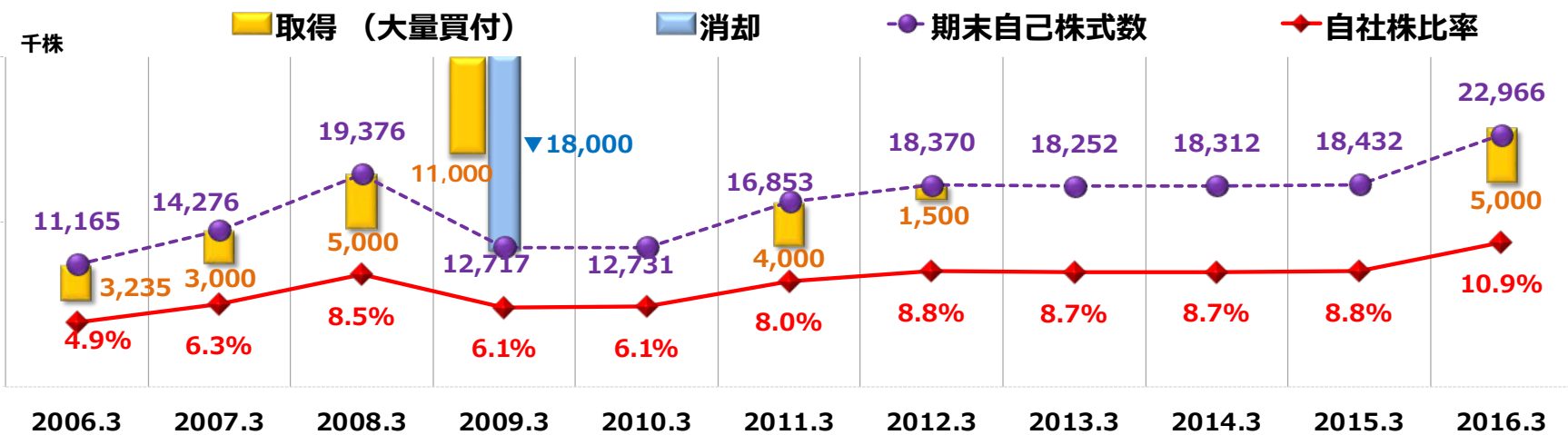
Ⅲ-3 株主還元

1 株配当金と配当性向の推移

(単位:円)



自社株の状況



明日をもっと、こちよく

GUNZE

本資料のうち、業績見通し等に記載されている内容は、現在入手可能な情報による判断に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策を保証するものではありません。